

実施方法

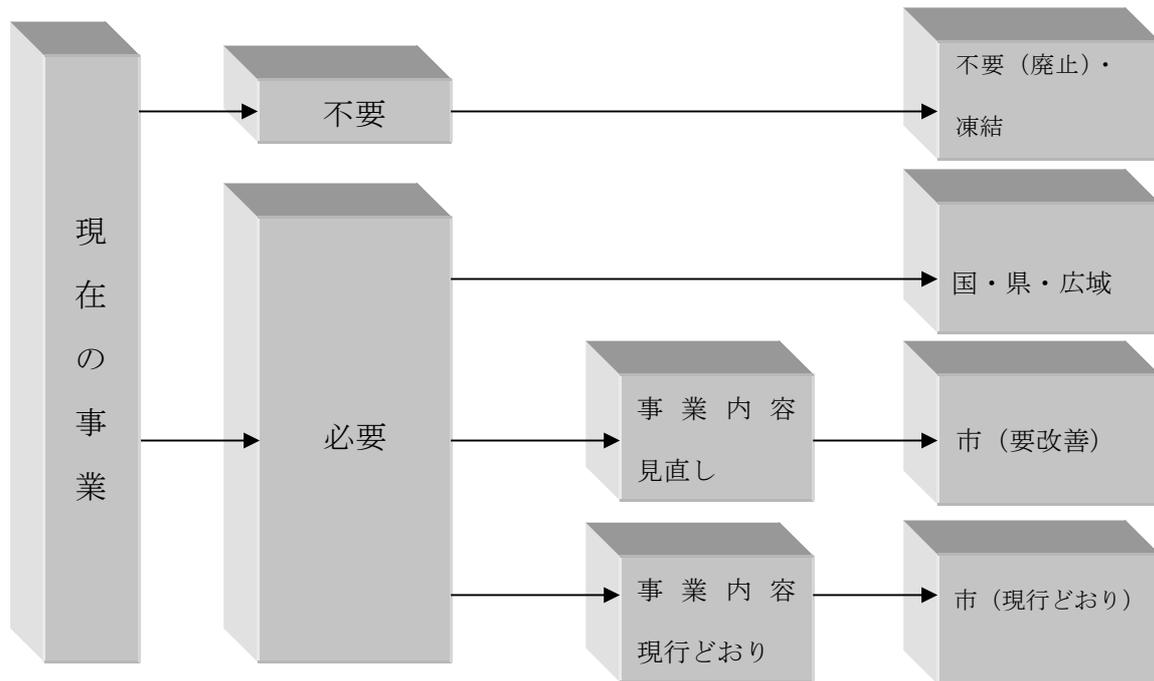
市民判定人方式による事業仕分けを実施します。

コーディネーター1名と仕分け人5名で仕分けチームを編成し、2班に分かれて仕分け作業を行います。

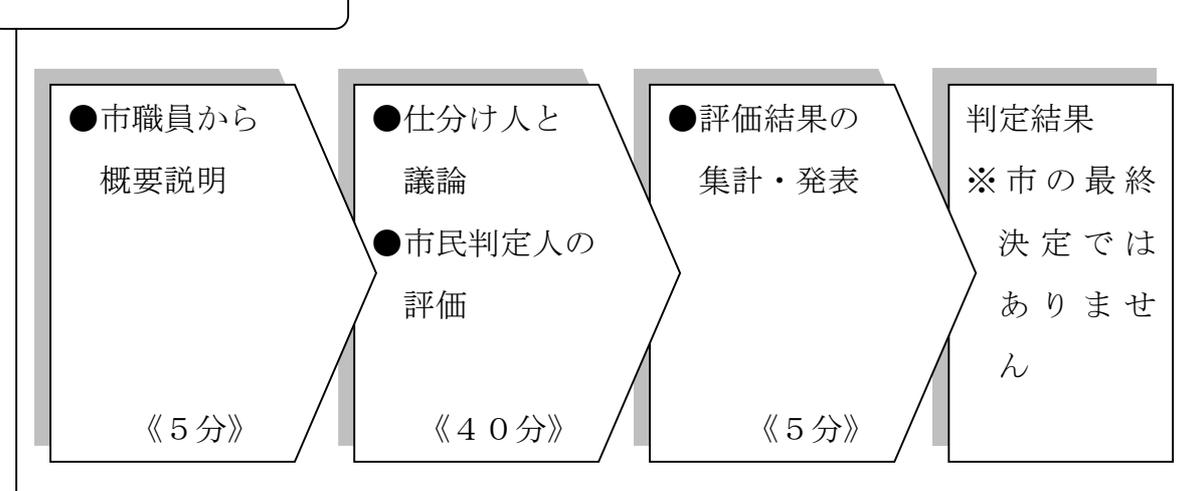
市民判定人が仕分け作業を傍聴し、評価シートを記入します。

最終評価は、市民判定人が記入した評価シートの多数決で評価します。

※この最終評価は、市の最終決定ではありません。



事業仕分けの流れ



市民判定人とは？

富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る富津市民委員を務める方で、仕分け作業（議論）を傍聴し、事業の判定を行う人です。

コーディネーター・仕分け人とは？

【コーディネーター】

仕分け作業（議論）を進行し、議論をまとめる人です。

【仕分け人】

仕分け作業（議論）の中で、対象事業について質疑応答等の議論をする人です。政策シンクタンク「構想日本」が派遣する大学教授などの有識者です。

構想日本とは？

非営利の政策シンクタンクで行財政改革などについて、様々な提案を行うとともに、提案した政策の実現に向けた実践活動に取り組んでいる団体です。